

カキ

- ・うどんこ病は、平年比やや多い発生であった。
- ・炭疽病は、発生を認めなかった（例年並）。
- ・カキクダアザミウマは、発生を認めなかった（平年並）。
- ・カイガラムシ類は、発生を認めなかった（平年並）。
- ・ハダニ類は、発生を認めなかった（例年並）。
- ・カメムシ類は、発生を認めなかった（平年並）。
- ・ハマキムシ類は、発生を認めなかった（例年並）。
- ・②でカメムシ類の幼虫、③でチョウ目の卵塊を確認した。

発生程度別基準

病害虫名	調査項目	無	少	中	多	甚
うどんこ病、落葉病	発病葉率(%)	0	1~10	11~30	31~50	51以上
炭疽病	発病新梢(果)率(%)	0	1~2	3~5	6~10	11以上
チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ ハマキムシ類 カメムシ類 カキノヘタムシガ カイガラムシ類	被害葉(果)率(%)	0	1~2	3~5	6~10	11以上
ハダニ類	寄生葉率(%)	0	1~15	16~30	31~45	46以上

カキ巡回調査結果（100葉、50果、50新梢調査）

調査日：令和4年6月14日

	うどんこ病		炭疽病		カキクダアザミウマ			カイガラムシ類		ハダニ類		カメムシ類		ハマキムシ類	
	発病葉率(%)	ほ場率(%)	発病新梢率(%)	ほ場率(%)	被害葉率(%)	被害果率(%)	ほ場率(%)	寄生果率(%)	ほ場率(%)	寄生葉率(%)	ほ場率(%)	寄生果率(%)	ほ場率(%)	寄生果率(%)	ほ場率(%)
京都市西京区 ①	25.0		0.0		0.0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
” ②	34.0		0.0		0.0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
” ③	31.0		0.0		0.0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
R4年	30.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平年（例年）比	やや多	並	（並）	（並）	並	並	並	並	並	（並）	（並）	並	並	（並）	（並）
平年（例年）	21.7	100.0	(0.0)	(0.0)	0.00	0.0	0.0	0.1	3.3	(0.0)	(4.2)	0.0	0.0	(0.0)	(0.0)
R3年	28.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
R2年	42.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
R元年	26.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30年	4.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
29年	7.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
28年	17.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
27年	11.3	100.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
26年	28.0	100.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
25年	44.3	100.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—
24年	7.0	100.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—